

家庭 科 2 年		家庭基礎		年間授業計画（シラバス）		
科目名	家庭基礎	対象	全コース	単位数	1 単位	
教科書	家庭基礎ともに生きる・持続可能な未来をつくる			出版社	第一学習社	
副教材	2020 最新生活ハンドブック					

## 1 学習の到達目標

- ① 五大栄養素の働きとそれらを多く含む食品を理解し、バランスのとれた食生活を実践できるようにする。
- ② 高齢者の身体状況への理解を深め、将来の高齢社会のあり方を考えられるようにする。
- ③ 生活に必要なお金にはどのようなものがあるか理解し、将来を見通した家計管理ができるようにする。

## 2 評価の観点・内容・方法、及び成績評価の方法

### ①評価の観点・内容・方法

評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
評価の内容	家庭や地域の生活について関心をもち、その充実向上を目指して主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けています。	家庭や地域の生活について課題を見いだし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し工夫し創造する力を身に付けています。	家庭や地域の生活を充実向上するために必要な基礎的・基本的な技術を身に付けています。	家庭生活の意義や役割を理解し、家庭や地域の生活を充実向上するためには必要な基礎的・基本的な知識を身に付けています。
評価の方法	・学習プリントへの取り組み ・定期考查 ・学習課題の提出	・学習プリントへの取り組み ・定期考查 ・学習活動への姿勢	・実習への姿勢 ・提出課題の完成度	・定期考查

### ②成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 定期考查 70% 平常点（学習態度・小テスト・課題など） 30%

### 3 学習計画

月	学習単元	主な学習内容と到達目標	時間数
4	・ガイダンス	・学習のねらい, 授業の概要, 評価方法(単位認定)を理解する。 ・「家庭基礎」を学ぶ意義を理解する。	1
5	5章 食べる 1節 人の一生と食事	・食生活に关心を持ち, 食事バランスのよい食事摂取の重要性を理解する。	10
6	2節 栄養と食事 3節 食生活の安全のために	・食生活を振り返り, 食生活の変化や課題について知り, 良い食生活の実践に役立てる。 ・栄養素の種類とはたらきを学習し, 各栄養素を多く含む食品の特徴を理解する。	
7		【1学期期末考査】	
9	5章 食べる 4節 食生活をデザインする	・日本人の食事摂取基準, 食品群別摂取量のめやすを理解し, バランスのとれた食生活ができるようになる。 ・4つの食品群による摂取量のめやすを理解する。	3
10	3章 充実した生涯へ 1節 高齢期を生きる 2節 高齢社会を支え合う	・高齢社会の現状と課題を理解する。 ・高齢期の心身の変化や特徴, 個人差が大きいことを理解する。 ・高齢者を支える制度と課題を考える。	6
11	4章 ともに生きる	・社会保障制度の必要性とその仕組みについて認識し, それぞれの範囲について理解する。	3
12		・ノーマライゼーションの実現のために必要な実践的な態度を身につける。	
		【2学期期末考査】	
1	8章 経済生活を営む 1節 私たちの暮らしと経済 2節 消費者問題を考える 3節 持続可能な社会をめざして	・経済的自立と職業について主体的に考える必要性を理解する。 ・生活の基盤となる家計管理の重要性を認識し, ライフステージ全体を見通した家計管理ができるようにする。 ・家計から見えてくる社会の仕組みを理解する。 ・契約や消費者信用, 多重債務問題などを学習し, 消費者として適切な判断ができるようにする。 ・大量消費から環境負荷の少ないライフスタイルへの転換を考え, 持続可能な生活ができるようにする。	5
3	9章 生活をデザインしよう	・自分の目指すライフスタイルを踏まえ, 高校卒業後の生活設計を立てる。	2
		【学年末考査】	

家庭 科 3 年		家庭基礎		年間授業計画（シラバス）		
科目名	家庭基礎	対象	全コース	単位数	2 単位	
教科書	家庭基礎 自立・共生・創造			出版社	東京書籍	
副教材	なし					

### 1 学習の到達目標

- ① 各ライフステージの特徴と課題を理解し、生涯を見通した生き方を考えられるようにする。
- ② 生活に必要なお金にはどのようなものがあるか理解し、将来を見通した家計管理ができるようにする。
- ③ 五大栄養素の働きとそれらを多く含む食品を理解し、バランスのとれた食生活を実践できるようにする。

### 2 評価の観点・内容・方法、及び成績評価の方法

#### ①評価の観点・内容・方法

評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
評価の内容	家庭や地域の生活について関心をもち、その充実向上を目指して主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。	家庭や地域の生活について課題を見いだし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し工夫し創造する力を身に付けている。	家庭や地域の生活を充実向上するために必要な基礎的・基本的な技術を身に付けている。	家庭生活の意義や役割を理解し、家庭や地域の生活を充実向上するために必要な基礎的・基本的な知識を身に付けている。
評価の方法	・学習プリントへの取り組み ・定期考查 ・学習課題の提出	・学習プリントへの取り組み ・定期考查 ・学習活動への姿勢	・授業への姿勢 ・提出課題の完成度	・定期考查

#### ②成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 定期考查 70% 平常点（学習態度・小テスト・課題など） 30%

### 3 学習計画

月	学習単元	主な学習内容と到達目標	時間数
4	・ガイダンス  [第1章 自分らしい人生をつくる] ・生涯発達の視点 ・青年期の課題 ・家族・家庭を見つめる ・これから家庭生活と社会	・学習のねらい、授業の概要、評価方法(単位認定)を理解する。 ・「家庭基礎」を学ぶ意義を理解する。  ・青年期に果たすべき発達課題について理解する。 ・男女が相互に協力して家庭を築くことの重要性を理解する。 ・家庭生活を支える労働の特徴を理解し、ワーク・ライフ・バランスについて考える。	1    10
5	[第8章 経済生活を営む] ・職業生活を設計する ・計画的に使う	・経済的自立と職業について主体的に考える必要性を理解する。 ・生活の基盤となる家計管理の重要性を認識し、ライフステージ全体を見通した家計管理ができるようにする。 ・家計から見えてくる社会の仕組みを理解する。	8
6			

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代の消費社会</li> <li>・これから消費生活と環境</li> </ul> <p>〔第7章 住生活をつくる〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住生活について考える</li> </ul> <p>【1学期期末考査】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・契約や消費者信用、多重債務問題などを学習し、消費者として適切な判断ができるようとする。</li> <li>・大量消費から環境負荷の少ないライフスタイルへの転換を考え、持続可能な生活ができるようとする。</li> <li>・住居の機能や間取りについて理解する。</li> <li>・住居の空間の構成を理解する。</li> <li>・住居を借りる際に必要な情報の収集や費用について理解する。</li> </ul>	
7			5
9	<p>〔第5章 食生活をつくる〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食生活の課題について考える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食生活に关心を持ち、食事バランスのよい食事摂取の重要性を理解する。</li> <li>・食生活を振り返り、食生活の変化や課題について知り、良い食生活の実践に役立てる。</li> </ul>	14
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事と栄養・食品</li> <li>・調理の基礎</li> <li>・生涯の健康を見通した食事計画</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養素の種類とはたらきを学習し、各栄養素を多く含む食品の特徴を理解する。</li> <li>・日本人の食事摂取基準、食品群別摂取量のめやすを理解し、バランスのとれた食生活ができるようになる。</li> <li>・4つの食品群による摂取量のめやすを理解する。</li> </ul>	
11	<p>〔第2章 子どもと共に育つ〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの育つ力を知る</li> <li>・親として共に育つ</li> <li>・これから保育環境</li> </ul> <p>〔第3章 高齢社会を生きる〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢期を理解する</li> <li>・高齢者の心身の特徴</li> <li>・これから高齢社会</li> </ul> <p>〔第9章 生活を設計する〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯を見通す</li> </ul> <p>【2学期期末考査】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの育つ力と発達段階を理解する。</li> <li>・子どもを取りまく社会変化の現状について理解する。</li> <li>・児童福祉の理念を理解し、子育て支援の現状を学ぶ。</li> <li>・高齢社会の現状と課題を理解する。</li> <li>・高齢期の心身の変化や特徴、個人差が大きいことを理解する。</li> <li>・高齢者を支える制度と課題を考える。</li> <li>・自分の目指すライフスタイルを踏まえ、高校卒業後の生活設計を立てる。</li> </ul>	3 3 2